

● 地域提案型

平成18年度 採択内定案件

<b>I. 提案事業の概要</b>	
1. 国名	中華人民共和国
2. 事業名	安徽省山間地域森林整備のための技術推進協力事業
3. 事業の背景と必要性	<p>安徽省の林業用地は412.3万haあり、省の面積の約30%をしめている。有林地面積は331.9万ha、生立木蓄積量は1.15億立方メートル、森林率は27.95%となっており、森林の公益的機能を発揮するためには公立的な森林施業や適正な森林管理が必要となっている。</p> <p>また近年、集中豪雨による土砂災害、洪水災害の発生や小雨の年には渇水被害が発生しているため、洪水対策として揚子江両側に保護林の造成や巢湖の水質を保全するための水源涵養林の造林などを行っている。一方、開発に伴い居住地域やライフラインの山地への接近が拡大し、土砂災害や山火事による民家への延焼被害などの危険性が高まっており、住民生活の安全や生活環境の保全のための森林整備が必要となっている。</p> <p>高知県は急峻な山地が多く、多雨地域で毎年多くの山地災害が発生するため、以前から治山事業による山地災害箇所への復旧に積極的に取り組んでいることから高い技術力を持っている。また、森林施業や管理に必要な林道・作業道の開設にあたっては、急峻で複雑な地形に配慮して計画・実施しており、高度な技術を持っている。また、近年開設コストの低減や木製品を利用した構造物を積極的に取り入れるなど、自然環境に配慮した取り組みを行っている。</p>
4. 事業の目的	<p>高知県で実施している林道・作業道及び治山工事の計画から施行までの技術を習得することにより、森林・林業及び木材産業に関する知識の蓄積を行なう。</p> <p>また林業技術や情報の相互交流を通じて、国際交流の発展に寄与する。</p>
5. 対象地域	安徽省
6. 受益者層	安徽省山間地域に住む住民
7. 活動及び期待される成果	<p>【活動】 林道・作業道・治山工事の計画から実施までのプロセスを段階ごとに現地研修により体験し、技術の習得を図る</p> <p>【成果】 林道・作業道の作設技術、山地災害の復旧方法が習得できる。</p>
8. 実施期間	平成19年～平成21年
9. 事業の実施体制	<p>(平成19年度) 研修員受入1名、専門家派遣2名            (平成20年度) 研修員受入1名、専門家派遣2名            (平成21年度) 研修員受入1名、専門家派遣2名</p>
<b>II. 実施団体の概要</b>	
1. 団体名(提案自治体)	高知県(高知県)
2. 対象国との関係、協力実績	高知県と安徽省は友好提携。これまで平成19年8月に県職員2名、同年9月から11月まで安徽省担当職員を研修員として受け入れた実績がある。